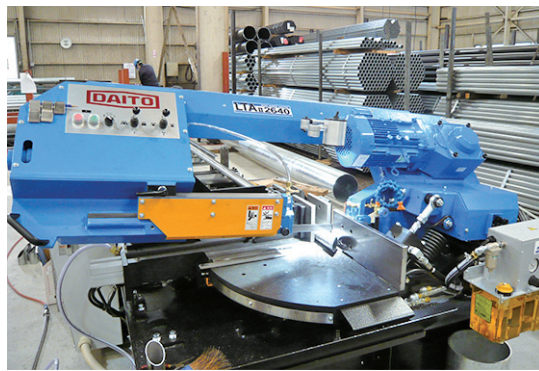


鋼管の角度切り自動化

対応バンドソー新設、納期短縮

鋼管特約店 阿部秀雄氏) は鋼管の
のアベスチールパイプ(本
社・千葉県浦安市、社長・
月末から稼働を開始した。大型建築物件や公
共工事関連
向けの小口
ット短納期
対応力の強
化を図る。
今回新設
したのは大
東精機の
「LTA II
2640」。
最大60度ま
での角度切
りに寸測
定機能を追
加した自動
機モデルで



先月末導入した角度
切り対応バンドソー

口径6〜260mmの鋼
管切断に対応する。こ
れまで手作業で行って
いた角度切りの寸法計
測などを自動化したこ
とで、精度向上と納期
短縮が可能に。束ね切
りや寸連続切りも行
うことができる。今回
の新設でバンドソーは
全2基体制となった。
配管用炭素鋼鋼管
(SGP) や圧力配管
用炭素鋼鋼管(STP
G)は、超大型の物流
倉庫関連などで小ロツ
ト短納期案件が長期に
わたる事例が増えてい
る。また、土木インフ
ラ配管、耐震化など
の公共工事関連でも一

定の需要があり、昨今
の風水害の影響から、
より大径管に対するニ
ーズが高まっている。
同社では昨年、土木、
建築向け配管用鋼管の
ねじ加工設備を増強。
パイプマシン4基、連
続鋼管ねじ加工装置を
2基体制にしている。
パイプマシンでは通常
の切削ねじのほか、耐
震性などの強度面や環
境配慮面などで優位性
のある転造ねじ(管用
テーパ)加工も行う。
今回のバンドソー増
設により、配管の切断
切削・ねじ加工のリー
ドタイムを短縮。施工
現場で増加中の少量多
品種ジャストインタイ
ム化需要に対応してい
く方針だ。

